

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	令和8年3月25日 (第3回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	つくば市 082201
地域名 (地域内農業集落名)	豊里地区 第7区 (上郷 木俣 野畑 手子生 田倉)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	695.63 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	445.98 ha
② 田の面積	194.53 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	500.66 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	357.99 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

70才以上で後継者が「未定」及び「不明」となっている農業者の耕作地は、将来遊休農地化が懸念されることから、地区内の認定農業者や新規就農者への円滑な集積・集約を進める必要がある。耕作地と耕作放棄地が隣接している箇所については、耕作できる土地に支障が出ているところもある。中間管理機構の周知と地権者への登録働きかけを行い、耕作者がいない土地の利活用をしていく必要がある。

また、耕作者がおらず、草刈り等保全管理のみ行っている土地もあり、これらの土地についても、拡大したい耕作者が担えるように検討する。70才以上に限らず、跡取りが農家を継がないと農地が荒れていくが基本的に後継者がいない。農家の跡取りがいない時代になっているので、それを期待するのは厳しい。そのため、耕作ができなくなった時に相談できるような体制が必要。人の繋がりがなくなっている所は、農地が荒れている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区の主要農産物は米、芝、である。また、都市近郊であるため、都市の需要に応じた多品目栽培も盛んである。農地利用については認定農業者に加え、官民一体となって、新規就農者の研修受入れ、育成を行うことで、利活用していく。農地の集約化や再分配により、農地の大区画化や耕作条件の改善を進める。そのために地域と担い手が一体となって、継続的に農地利用について意見交換を行う。

条件が悪い土地についても、積極的に整備・再生する取り組みが必要になる。また、耕作者がおらず、草刈り等保全管理のみ行っている土地もあり、これらの土地についても、拡大したい耕作者が担えるように検討する。この地区で新規就農者を増やせるようにもっとアイデアを出して継続していけるようにする。若手を育てる研修は、法人が若手の育成をして新規就農者に繋げていく。その土地にあった作物を作るなど、現地の研修を充実させていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理事業の活用により耕作条件を改善し、認定農業者や新規就農者を中心に面積の拡大および農地集積を進める。 農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を踏まえて、段階的に集約化を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	27.14	%	将来の目標とする集積率
			66 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
市、農業協同組合、普及センター等関係機関と連携し、目標地図に位置付ける者を中心に農地中間管理事業による集約化を進める。 地域内の農業を担う者41 経営体の現耕作面積:210.8ha			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組			
農地中間管理事業の活用により耕作条件を改善し、認定農業者や新規就農者を中心に面積の拡大および農地集積を進める。			
(2) 農地中間管理機構の活用方法			
農地を農地中間管理機構に貸し付け、担い手の経営意向を踏まえて、段階的に集約化を進める。			
(3) 基盤整備事業への取組			
関係者の合意形成を図り、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を検討する。			
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組			
市、農業協同組合、普及センター等関係機関が連携して、多様な経営体を募集する。生産する農地の紹介や栽培技術等の支援、新規就農者への研修制度を充実させ、育成の取り組みを展開する。			
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組			
耕作できなくなった農地を農業協同組合の関連会社(ファーマーズつくば)が活用してきたが、現状では、活用できなくなっている状況である。今後、どうしていくか新たに意見を出し合い遊休農地の発生防止を図る。			
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)			
<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料
<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畑地化・輸出等
<input type="checkbox"/>	⑤果樹等	<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等
<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設
<input checked="" type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他
【選択した上記の取組内容】			
①アライグマ、ハクビシンによる被害があるので、対策を地区内で検討する。			
②有機への取り組みを行っている現状があるので、更なる取り組みを地区内で検討する。			
③ドローンによる農薬散布を実施している。また、果樹等で自動制御による散水管理を行っており、更なる取り組みを地区内で検討する。			
⑨地区内の法人で取り組んでいるので、更なる対策を地区内で検討する。			

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1 認農	A	花木、甘藷	0.1 ha	ha	花木、甘藷	0.1 ha	ha	A	
2 認農	B	ベビーリーフ、パクチー	2.56 ha	ha	ベビーリーフ、パクチー	2.56 ha	ha	B	
3 認農	C	小松菜、レタス、ホウレンソウ、イチゴ、水稻	15.27 ha	ha	小松菜、レタス、ホウレンソウ、イチゴ、水稻	15.27 ha	ha	C	
4 利用者	D	ネギ、落花生	0.15 ha	ha	ネギ、落花生	0.15 ha	ha	D	
5 認農	E	茎ブロッコリー、ほうれん草、人参、つるむらさき、モロヘイヤ、なす他	3.94 ha	ha	茎ブロッコリー、ほうれん草、人参、つるむらさき、モロヘイヤ、なす他	3.94 ha	ha	E	
6 認農	F	枝豆、甘藷、じゃがいも、人参	6.22 ha	ha	枝豆、甘藷、じゃがいも、人参	6.22 ha	ha	F	
7 認農	G	枝豆、人参、ネギ、かぶ、ミニ白菜	4.03 ha	ha	枝豆、人参、ネギ、かぶ、ミニ白菜	4.03 ha	ha	G	
8 利用者	H	ブルーベリー	0.59 ha	ha	ブルーベリー	0.59 ha	ha	H	
9 認農	I	ベビーリーフ、タマネギ、甘藷、人参、ジャガイモ	4.89 ha	ha	ベビーリーフ、タマネギ、甘藷、人参、ジャガイモ	4.89 ha	ha	I	
10 認農	J	水稻	27.45 ha	ha	水稻	27.45 ha	ha	J	
11 認農	K	水稻、小麦	11.5 ha	ha	水稻、小麦	11.5 ha	ha	K	
12 認農	L	水稻、芝	1.84 ha	ha	水稻、芝	1.84 ha	ha	L	
13 認農	M	アスパラガス、リーフレタス、たまねぎ	1.23 ha	ha	アスパラガス、リーフレタス、たまねぎ	1.23 ha	ha	M	
14 利用者	N	水稻	5.05 ha	ha	水稻	5.05 ha	ha	N	
15 認農	O	芝、肉用牛	0.48 ha	ha	芝、肉用牛	0.48 ha	ha	O	
16 認就	P	枝豆	0.98 ha	ha	枝豆	0.98 ha	ha	P	

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考	
17	認農	Q	水稻、トウモロコシ、 ハウレンソウ、キャベツ、蕎麦	3.46 ha	ha	水稻、トウモロコシ、 ハウレンソウ、キャベツ、蕎麦	3.46 ha	ha	Q	
18	認農	R	水稻、いちじく	6.53 ha	ha	水稻、いちじく	6.53 ha	ha	R	
19	認農	S	水稻	3.22 ha	ha	水稻	3.22 ha	ha	S	
20	認農	T	ニンジン、 玉ねぎ	0.27 ha	ha	ニンジン、 玉ねぎ	0.27 ha	ha	T	
21	認農	U	水稻、芝、 ネギ	27.65 ha	ha	水稻、芝、 ネギ	27.65 ha	ha	U	
22	認農	V	水稻、小麦	3.17 ha	ha	水稻、小麦	3.17 ha	ha	V	
23	認農	W	大豆、小麦、 牧草、里芋、 タマネギ	4.18 ha	ha	大豆、小麦、 牧草、里芋、 タマネギ	4.18 ha	ha	W	
24	認農	X	芝、ジャガイモ、 牧草	0.32 ha	ha	芝、ジャガイモ、 牧草	0.32 ha	ha	X	
25	認農	Y	青パパイヤ	4.20 ha	ha	青パパイヤ	4.20 ha	ha	Y	
26	認農	Z	ナス、ハウレンソウ	1.61 ha	ha	ナス、ハウレンソウ	1.61 ha	ha	Z	
27	認農	AA	赤ネギ、たまねぎ、 ほうれん草	0.96 ha	ha	赤ネギ、たまねぎ、 ほうれん草	0.96 ha	ha	AA	
28	認農	AB	水稻、芝	35.16 ha	ha	水稻、芝	35.16 ha	ha	AB	
29	認農	AC	ブルーベリー、 ラズベリー	0.43 ha	ha	ブルーベリー、 ラズベリー	0.43 ha	ha	AC	
30	認農	AD	落花生、ごま、 生姜、水稻、 かんしょ	2.33 ha	ha	落花生、ごま、 生姜、水稻、 かんしょ	2.33 ha	ha	AD	
31	認農	AE	ネギ、里芋類、 甘藷、じゃがいも、 養豚	1.27 ha	ha	ネギ、里芋類、 甘藷、じゃがいも、 養豚	1.27 ha	ha	AE	
32	利用者	AF	水稻	2.18 ha	ha	水稻	2.18 ha	ha	AF	
33	利用者	AG	水稻	2.87 ha	ha	水稻	2.87 ha	ha	AG	
34	利用者	AH	ニンジン、 レタス	5.97 ha	ha	ニンジン、 レタス	5.97 ha	ha	AH	
35	認農	AI	水稻、小麦、 トウモロコシ	1.01 ha	ha	水稻、小麦、 トウモロコシ	1.01 ha	ha	AI	

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
36	認農	AJ	ねぎ、白菜	0.45 ha	ha	ねぎ、白菜	0.45 ha	ha	AJ	
37	認農	AK	水稲、キュウリ、トマト	0.92 ha	ha	水稲、キュウリ、トマト	0.92 ha	ha	AK	
38	認就	AL	ネギ、ピーマン	2.88 ha	ha	ネギ、ピーマン	2.88 ha	ha	AL	
39	利用者	AM	水稲	1.49 ha	ha	水稲	1.49 ha	ha	AM	
40	認農	AN	水稲	7.16 ha	ha	水稲	7.16 ha	ha	AN	
41	認就	AO	小松菜、レタス、イチゴ	1.16 ha	ha	小松菜、レタス、イチゴ	1.16 ha	ha	AO	